

船舶事故調査報告書

平成22年2月4日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

委員 横山 鉄 男（部会長）

委員 山 本 哲 也

委員 根 本 美 奈

事故種類	乗組員死亡
発生日時	不明（死亡推定時刻は、平成21年11月9日04時00分ごろであった。）
発生場所	不明（石川県小松市沖 ^{あたか} 安宅港口灯台から真方位232°約3,400m付近で、無人の本船が発見された。）
事故調査の経過	平成21年11月10日、本事故の調査を担当する主管調査官（神戸事務所）ほか2人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者としての船長からの意見聴取は、本人が本事故で死亡したため行わなかった。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	漁船 ^{みやしお} 宮潮丸、2.6トン IK3-12679（漁船登録番号）、個人所有 7.50m(Lr)×2.14m×0.74m、FRP ディーゼル機関、漁船法馬力数45、昭和55年2月19日
乗組員等に関する情報	船長 男性 68歳 一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士 免許登録日 昭和50年6月13日 免許証交付日 平成20年9月29日 (平成26年8月14日まで有効)
死傷者等	死亡 1人（船長）
損傷	なし
事故の経過	本船は、平成21年11月9日02時00分ごろ、船長1人が乗り組み、刺網漁の目的で、石川県安宅漁港を出港した。 僚船船長が、06時30分ごろ安宅港口灯台から南西方約3,400m付近で、無人の本船を発見して海上保安庁に通報した。 15時20分ごろ、船長は、本船発見場所付近の海底で発見され、その後、死因が溺死、死亡推定時刻が04時00分ごろと検案された。
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 南東、風力 2、気温 約12℃ 海象：波 ほとんどなし、海水温度 約20℃
その他の事項	船長は、救命胴衣を着用していなかった。 無人の本船は、機関のハンドルを微速力前進とし、刺網の一端が本船に、他端が付近のブイに絡んでいた。

分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり 不明 不明 死因は溺死であった。 本船は、安宅漁港沖において、刺網漁の操業中、船長が救命胴衣を着用せずに落水したため、溺死した可能性があると考えられる。 船長が落水した状況については、明らかにすることはできなかった。
原因	本事故は、安宅漁港沖において、本船が刺網漁の操業中、船長が、救命胴衣を着用せずに落水したため、発生した可能性があると考えられる。	